

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2025年 2月 28日	
保育所等訪問支援 クレバス		利用施設数			10施設	
		回収数			7施設	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 学校としての支援、事業者としての支援の区分があり、どちらとも言えない。集団、個別の中で各々ができることを情報共有している。 説明は分かりやすかった。 報告者を渡していただけているのでありがたいです。保護者の受け止め方が気になります。 	<p>今後も集団・個別支援の両面において、どのようなアプローチが可能か情報共有を重ねながら進めていく。保護者の方とは、面談などで意見を伺いながら、必要に応じて支援の見直しを行っていきたい。</p>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援員として子どもにどのように支援していけばよいかを見学から客観的にみどり共有しようとしている。 支援員さんと知識などに対する具体的な話があまりできなかった。 知識、技術の専門性や資格に敬意を表します。学校の教育課程とのすり合わせも望みます。 	<p>具体的な話を行えるよう、定期的に会議や電話などで情報交換ができる機会を作っていく。引き続き、双方がスムーズに連携できる体制を整えていきたい。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 訪問後、その他適宜担任と連絡をとり情報共有を行っている。 困りに親身になって聞いてくださった。 十分な時間が設定できていませんが、コミュニケーションはとっていただいています。 	<p>引き続き、子どもの様子を把握しあいい、支援に必要な情報が途切れなく、共有できるよう体制を整えていく。</p>	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に伝えておいた方がよいこと（持ち物を入れる袋の大きさを変更した方がよい）を具体的に伝えている。 訪問支援を利用し、解消までとはいかなかったが、参考になる話をお聞きできた。 利用された保護者、とくに該当児童にとって効果があったのか今ひとつ明確でないというのが実感です。 	<p>課題や困りを明確にし、軽減できるよう情報共有を行っていく。引き続き、質の高い支援を行えるようにスキルを上げていく。</p>	
5 事業所からの支援に満足していますか。	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 学校で育てる集団の一員としての生活を支える基盤や生活習慣など家庭と連携して取り組んでいる。 事業所からの支援の取り組みをもっと知ってきたい。 かなり調整に時間をとられますし、「直接支援」ができるような打ち合わせがまだまだ不足していると感じています。 	<p>支援内容を具体的に伝え、学校とより密に連携が取れる様、会議などを行っていく。</p>	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> 当該児童がよりよい社会生活を営んでいけるよう。訪問での気づき、家庭に協力を依頼することなど担任を中心に情報共有を今後も行ってほしい。 保護者等訪問支援の事業として必須であるはず「直接支援」がどのようなものであるのか、まだ明確ではありません。学校での生活の流れや教育活動の妨げにならないよう十分に配慮しながら集団活動に加わって支援していただく「直接支援」ができれば本校のスタッフへの支援にもなり、さらにwin-winになるのではないかと考えます。そのためには、「個別支援会議」や「保育所等訪問支援計画書」など見える化できる場や時間、文書（モノ）が必要になると思います。 学校での様子を見て分析し助言をいただく「観察支援」だけでは、実際のところ事前アセスメントレベルで、児童の特性に応じた支援には不十分であり、効果があまり感じられません。 報告書による記述が保護者の不安や学校不信を強化してしまうケースもあります。たとえば、「先生の声かけがあればもっとよくなる」という記述からは、「先生は声かけしてくれているのだ」という解釈につながり指導は不十分だと思う保護者も少なくないです。 支援目標や支援内容の合意が不足しているケースも他の事業所様では多い気がします。 児童の確かな成長のために協力は惜しまないつもりですが、学校の設備改善や計画変更などすべて依頼を満たせないこともご理解ください。 				<ul style="list-style-type: none"> 直接支援のあり方については、学校と会議を行い、方向性のすり合わせを行っていきたい。 また、授業の妨げにならない様、常に配慮していく。 保育所等訪問支援計画書などについては、関係機関が共通認識を持てるよう、計画の内容を可視化し、どのように連携していくのかを明確にしていく。 報告書は、保護者の方の不安に繋がらない様な書き方を心がけている為、引き続き、続けていきたい。 今後も担任の先生を中心に、感じたことや支援内容の提案などを積極的に共有し、より適切な支援に繋げていきたい。 		